

かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録2025 no.1

参加者の記憶を媒介とした対面での「言葉の交流」を目的とする、せたがやアカカブの会。2022年度からは《ハガキ方式》での遠隔実施と対面実施を併用するハイブリッド開催です。今回、覧いただいた映像は『おでかけと帰省』（No.45、昭和38年4月22日、6月9日などに撮影）でした。さて



どのような声が集まってきたのでしょうか。じっくりお楽しみください。

POST-MOVIE

(あ) この映像の43年後に生まれました

(い) 今は核家族化が進んでいるので、子どもと大人数で育てている感じがあたたかくて良いなと感じました。

今とは景色も流行のものも何もかも違って、私にとってはとても新しい発見がありました



(う) 18歳 東京都(墨田区)

世田谷クロニクル

Setagaya Chronicle 1936-83

かぶうずら、やまいもうなぎ アカカブの会の記録2025 no.1
発行日：2025年8月28日

お問い合わせ：生活工房 03-5432-1543 info@setagaya-ldc.net
編集：せたがやアカカブの会世話人(松本篤、八木寛之、成田海波、ブルサコワありな)
主催・発行：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
https://www.setagaya-ldc.net/
企画制作：remo [NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]
後援：世田谷区、世田谷区教育委員会

本誌の無断転写、複製、転載を禁じます。



せたがやアカカブの会：The setagaya akakav circle
穴アーカイブにおいてデジタル化した映像を、じっくり観ながら語り合う小さな集いの場。ほぼ隔月で開催。開催予定、上映内容は、生活工房HPまたはお問い合わせからご確認下さい。一見さん大歓迎。本誌「かぶうずら、やまいもうなぎ」は、当会の断片的・公式活動記録。

セタガヤ

穴アーカイブ：an-archive
記録を残すという営みを、記録が残らないこと、すなわち、記録の不在(穴)から捉え直す反(an)アーカイブ的アーカイブの試み。昭和30～50年代にかけて市販された8ミリフィルムという映像メディアに着目し、世田谷のまち、ひと、くらしに光をあてる。2015年から始動。

穴アーカイブ：an-archive
せたがやアカカブの会vol.41《ハガキと対面のハイブリッド》
開催方法：アカカブの会々員に郵送した返信用ハガキに回答・返送してもらいました
開催日時：2025年5月11日(日)14:00～15:30
ハガキ募集期間：2025年4月8日～5月7日
回答数：9名(ハガキ参加3名)

キャロットタワー画像：No.45「おでかけと帰省」1963(昭和38)年4月22日、6月9日など「井の頭公園、向ヶ丘遊園、二子玉川園、自宅(太子堂)、大原の生家(千葉県)」「25分11秒」カラー。井の頭公園の看板、井の頭公園、池の端、ボートなど。向ヶ丘遊園のロープウェイ、屋外テニスコートの食事、噴水、コーヒーカーなど。二子玉川園のローズガーデン。自宅アパート、白い犬を抱える提供者の長女。千葉の実家に帰省。並べてあった風景など。太子堂神社の七五三(長女3歳)。世田谷区の電車が走る。

